

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人大阪NPOセンター

I. 事業期間 2022年4月1日～2023年3月31日

II. 概要報告

新型コロナウイルス感染症による社会の変化に戸惑う数年を経て、コロナと共存する新しい生活様式に慣れ、社会生活も落ち着きを取り戻しつつある一年でした。

コロナ禍に生まれた新たな社会課題やニーズに対応するために動き出そうとするCSOも増えてきました。本年度も、社会課題解決のために頑張っている団体を顕彰および新しいビジネスプランの発掘を目指した「CSOフォーラム 2022」を開催しました。約100件の応募の中から6団体が受賞し、多くの社会課題に取り組むCSOの発掘に繋がりました。これは広報を強化した成果でもあり、大阪NPOセンターの周知も進めることができました。また、受賞後のサポートも継続して行っており、次年度以降のクラウドネットワークの強化へ繋げていきます。

「コロナから立ち上がる人を応援する」を前面に押し出したプロジェクト支援事業である1,000万円応援PROJECTについても、採択団体のサポートを実施し、それぞれの団体が着実に成果を上げることができました。

今後は、社会的事業活動を検討する企業や教育機関との連携を深めることを目指していきます。

【クラウドネットワーク】

・「北浜サロンアカデミー」や「ゆるっと北浜サロン」などCSOのための新たな事業を打ち出すとともに、CSOフォーラムを含めたイベント・セミナーなどは対面、オンラインのハイブリット型での開催を基本とし、より多くのCSOと繋がることができました。

・クラウドネットワークデータベースの登録を進め、連携の輪を広げていきました。

・HP、SNSを活用した情報発信を強化したことにより、フォロワーの増加やCSOフォーラムの応募件数の増加につながりました。引き続き、定期的な情報発信を行い、クラウドネットワークの実現につなげていきます。

【ファンドレイジング】

・ファンドレイジングへの具体的な取り組みは叶いませんでしたが、会員情報の整備、会員メリット、提供するサービスの見直しや検討を行うことができました。これらを反映させ、ファンドレイジングの成果に繋げていくことが必要です。

【マネジメントサポート】

・深刻なコロナ禍であった過去2年よりも相談・サポート件数が増加しました。またプロジェクトの実施サポートなどを通じてCSOのマネジメント力の向上に努めました。

III. 事業内容

公共を市民に拓くための社会基盤整備事業

1. スペース貸出によるサポート

目的 北浜エリアにおける多様な人々との共創の場づくりとして、レンタルスペース・セミナースペースの貸出を強化します。センターの会員だけでなく、スペースを利用したい個人・団体などのニーズ把握を行い、動画配信等様々な用途で活用してもらえるような情報発信を行っていきます。支援機関等とも連携し、創業等を目指す人材等に対するスタートアップオフィス機能の提供やサブスク利用などによる収益事業化を図ります。

内容 感染症拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを考慮した運営を行いました。その一環として、短時間の貸室利用及びオンライン会議用の貸室なども広報し、よりひろい世代や新しい利用者に周知し、新たな利用者も増えました。また、会議室のポータルサイト等にも登録し広く広報しました。

評価 セミナースペースの利用は目標数値には届きませんでした。(目標件数年間 60 件 実績 57 件)しかし、ポータルサイト等への掲載やレンタルスペース利用者の口コミなどもあり、レンタルスペースの新規契約者(7 団体利用/8 ブース)がありました。オンライン配信などのツール貸し出しも目標件数を達成し、次年度に向けた相談や利用予約も増えています。セミナールーム利用率の増加には至っておらず、付加価値やサービス内容の見直し、稼働率を上げるための検討、または抜本的な刷新を行うことが必要です。



オフィススペース



レンタルスペース



セミナースペース

2. 門真市立市民公益活動支援センター（指定管理）

目的 門真市における市民公益活動団体の支援相談や情報受発信、啓発、交流、活動の機会と場の提供や、多様な主体の間をつなぐコーディネート等を行うことを通じて、多様な主体との協働による「協働によるまちづくり」の推進を図ることを目的とします。特に、門真市域の市民活動団体、企業、校区単位の地域づくり組織等の連携・協働の促進や、支援メニューの向上を図ることで、センターの利用促進を目指します。

期間 2022年4月～2023年3月（受託期間は2025年3月まで）

場所 門真市域

- 内 容**
- ・市民公益活動支援センターの管理・運営(事務ブース・会議室等) 通年
 - ・市民活動関連の情報収集及び発信(HP・SNS・メーリングリスト) 随時
 - ・市民公益活動に関する相談 随時(113件、内マッチング15件)
 - ・「市民のためのNPO勉強会」の開催 2回(NPOって何の略?・NPOって儲けちゃダメなんよね?・NPOとボランティアって何が違うの?)
 - ・「地域資源セミナー～知る・見る・掘る～(かどま蓮根のルーツと現状)」の開催 2回
 - ・「市民活動勉強会 ～地域づくりの主体づくり～」の開催 2回
 - ・「井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる」の開催 3回
 - ・登録団体交流会の開催 4回
 - ・機関紙(公益 times)の発行 6回
 - ・パンフレットの作成
 - ・利用者アンケートの実施 2回



評 価

人のつながりを基に、企業・NPO・行政・教育機関など多様なセクターのつながりを構築(マッチングを含む)しました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、市民公益活動を担うプレイヤーの人材育成を目的に、勉強会や地域資源セミナーなどを複数回開催し、多くの市民に参加してもらい、市民公益活動支援センターの職員を含め、門真市の資源(人・物・金・情報)を認識しました。門真市における「パイプ役(つな・ひきの役割)=中間支援」として、市民公益活動に係る情報受発信、セミナーの開催、各種相談、人材育成、団体同士の交流(情報共有)などの事業をおこなうことを通じ、市民公益活動団体や市民の方々がイキイキと、それぞれのスキルを活かしながら市民活動ができることを目指します。また、今まで参加してくれた市民とくに専門的な知識をもち市民活動をサポートしてくれる人材の発掘と今後の活躍をコーディネートしていきます。

3. 岸和田市市民活動サポートセンター (委託)

目 的 岸和田市において、市民の多様な社会活動への参加を促進し、市民自治都市を実現するために市民活動の創業、運営の支援を行います。具体的には、拠点の運営、市民活動に関する情報の収集・提供、相談・運営支援、市民団体・行政・企業間のマッチングをコーディネート、各種講座の企画運営を行います。活動の成熟度に拘らず、ひとりから始める活動の支援を積極的に行います。過年度より実施している「きしサポアイデアコンテスト」の充実化、地元の高校等の教育機関との連携などを強化し、大阪南部・泉州地域の中核市にある市民活動センターとして、さらなるセンターの認知度の向上を目指します。

期 間 2022年4月～2023年3月

場 所 岸和田市域

内 容

- ・市民活動関連の情報収集及び発信(HP・FB・LINE・YouTube・メール) 随時
- ・NPO 法人等の設立・市民団体運営相談の実施 随時
- ・NPO 法人・市民団体への専門家相談 3回
(うちイベントでの出張相談会1回、地縁団体会議でのファシリテーター参加含む)
- ・出張相談会1回
- ・NPO・市民団体運営力育成セミナー 2回
- ・交流会 1回

- ・機関紙きしサポの発行 4 回
- ・映像制作(2 本)及びラジオ配信(8 回)による情報発信
- ・団体自らがラジオを通して PR 活動を行う「5分で活動 PR！」を配信 2回
- ・第 4 回きしサポアイデアコンテスト実施(事前セミナー及び受賞後、広報サポート・活動支援金授与含む)1回
- ・マッチング・コーディネート 19 件
- ・市民団体・NPO 法人などのネットワーク形成支援「つながる広場」の開催 4回
(ワークショップ 3 回・ギャラリー1 回)

評価 今年度より、歴史ある団体、ひとりからでも活動を広げていきたい方、活動を始めたばかりの個人・団体などが柔軟に活動を広げていけるような支援を開始しました。個人ではハードルの高い、活動周知や仲間を増やすための場所の確保、および広報をサポートセンターが代行することで、市内外からの注目を集め、初来所者が増え、結果サポートセンターの周知もできました。また、前年度アイデアコンテストで賞を逃した団体が、今年度は大賞を受賞したり、開所時は作業所であった団体が、NPO 法人となり、市職員研修や他市でパネラーを務めるまでになるなど、団体の成長に寄り添った支援ができました。相談者が経過報告に来所くださることも多く、その時の段階に応じた新しいマッチング先の紹介やアドバイスをすることで、信頼関係が強くなっています。今後も相手の立場に立ち、同じ目線で未来をみていくことを心掛けていこうと思います。

4. 堺市市民活動コーナー（委託）

目的 市民活動に関する情報の受発信や NPO 法人設立・運営等の各種相談・セミナーの開催を行いました。過年度実施した堺市内におけるNPO法人の実態調査の成果を活用し、企業や金融機関、大学等とのネットワークを広げ、多様な主体を結びつけるマッチングのコーディネート等を行います。特に ICT 等を活用した事業活動・組織運営に係るサポートの充実化など提案した事業の履行と、新しい発想に基づく事業企画を行い、市民活動団体と企業、教育機関等とのマッチングやコーディネートを促進していきます。

期間 2022 年 4 月～2023 年 3 月（受託期間は 2023 年まで）

場所 堺市総合福祉会館等

内容

- ・市民活動関連の情報収集及び発信 随時
- ・NPO 法人の設立・運営相談及び専門家相談の実施 随時
- ・NPO 運営力強化セミナー・会計講座・ミニセミナー 計 8 回
- ・NPO 法人向け個別サポート 6 団体
- ・職員研修 1回(動画撮影による実施)
- ・マッチング交流会 1 回



評価 今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応から、対面での講座の開催が可能となりましたが、感染症対策には引き続き注意を払って開催しました。職員研修については、現地で動画撮影を行い、オンデマンドで受講できるようにするため、堺市と協議して実施しました。コロナ禍による活動への制限はやや緩和されたように見えますが、引き続きイベント参加やマッチング支援など、活発な取り組みが必要です

5. 藤井寺市市民活動サポート業務（委託）

目的 藤井寺市における市民活動の担い手への支援と社会活動への参加を促進し、多様なまちづくりの実現に向けた主体間のつなぎ役となる中間支援として、協働のまちづくりの推進を図ります。具体的には、市民活動に関する相談・運営支援、市民活動間の交流・ネットワークづくり、地縁組織の組織運営のサポートに寄与します。

期間 2022年4月～2023年3月

場所 藤井寺市役所

内容 ・市民活動等に関する市民活動相談会 毎月1回
・市民活動スキルアップセミナー事業 3回

評価 計画通り実施することができました。新型コロナウイルス感染症による厳しい制限が撤廃され、市民活動も動きを取り戻してきたことにより、相談件数が増加しました。今後は、市民活動相談会と市民活動スキルアップセミナーを連動させ、さらなる利用を促進する工夫が必要です。



人材育成事業

1. NGO等活動支援事業 NGO等提案型プログラム

目的 NGO・NPO、公益法人、大学、自治体等の団体(以下、「NGO等」という)を通じて実施される開発途上国での国際協力活動を支援するため、NGO等に対して、中長期的に組織運営や事業運営できる能力の向上を図ります。今回は第2フェーズとして、主に近畿地方において創業期にあるNGO等について、国際協力に係る事業計画の策定支援、組織整備等の支援を中心に行います。また、受講者の国際協力現場に同行し、カウンターパートナーおよび援助対象者から開発支援ニーズを把握し、NGO等が実施している事業の改善支援を行います。

期間 2022年4月～2023年3月（受託期間は2023年11月30日まで）

場所 近畿圏域

内容 ・新規受講団体の募集、告知活動
・集合研修の企画検討
・受講7団体に対する個別経営支援の実施
(NGO ネパール虹の家、(特活)CHARM、(特活)多言語センターFACIL、
(合)punica、(一社)Bokk Jambaar、(一社)南太平洋協会、(特活)Oneself)



評価 NGO等のサポート経験のある外部人材とともに、各団体が抱える組織運営に関する課題解決に向けた経営支援を実施しました。単なる団体支援だけでなく、団体間の横の繋がりなどのコーディネート機能も果たすことで、受講者同士の連携・協働の機会にも寄与しつつあります。今後は、事業終了後を見据えた展開を検討する必要があります。

コンサルティング及びコーディネート事業

1. 北浜サロン

目的 クラウドネットワークによる新たな社会的事業活動とそれによって創出される価値を社会に還元します。北浜サロンをさらに魅力あるものにするために、資源(人・もの・資金・情報)を積極的に活用して事業展開していきます。

内容 1)データベースの整備
センターと関わりをもつ個人や団体にあった情報発信、共創協働による新たな社会的事業活動の企画やサポートを行うため、分野やキーワード等に分類しデータベースを構築しました。

2)北浜サロンアカデミーの開催

CSOが必要とする、ちょっと先を行く情報や基本的な知識内容を提供するため、大阪NPOセンター主催講座として開催しました。

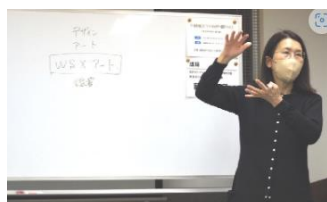
- ・2023年2月より実施(2/1、3/1:毎月1回程度実施予定) 今後も継続予定
- ・2/1「インボス制度のすべてがわかるセミナー」大松祐介氏
- ・3/1「リーダーのためのアート鑑賞ワークショップ」事務局次長 藪田雪子

3)ゆるっと北浜サロンの開催

CSOフォーラムから輩出された社会起業家や団体などをゲストとして迎え、事業への想いや継続のコツなどを中心に参加者一体型のCSO同志が学びあえるサロンを開催しました。

- ・2023年3月より実施(3/24) 今後も継続予定
- ・3/24「社会起業家、どうやって飯を食う?!」
NPO法人HELLOlife 代表理事 塩山諒氏
株式会社Silent Voice 代表取締役/NPO法人Silent Voice 代表理事 尾中友哉氏

評価 データベースの整備については、作成を進めました。今後、作業をすすめながら登録内容等ブラッシュアップしていく必要があります。既存の会員名簿、プレス先のリスト、フォーラムや1,000万円応援プロジェクトの応募者のリストを活用し、情報発信を行うことができました。また、「北浜サロンアカデミー」「ゆるっと北浜サロン」など、クラウドネットワークを活用した新たな企画を展開することができました。これらの企画を継続することで、クラウドネットワークの活性化をはかっていきます。



2. 企業との連携

目的 企業、金融機関等を対象とした、ソーシャルビジネスや SDGs などの社会的課題をテーマとしたセミナー・研修の企画運営、企業や企業内個人が行う社会的活動・スキルやノウハウを活かした CSO サポートの企画運営を支援します。

内容 ・日本政策金融公庫との連携：阪南市ソーシャルビジネスネットワークとして講座を実施
・大阪商工信用金庫主催、「大阪商工信金社会貢献賞」の推薦団体として、CSO を推薦



【ソーシャルビジネスセミナーin 阪南市】

<日時> 2022年10月21日

<場所> 阪南市商工会館 2 階(阪南市尾崎 35-4)

<参加人数> 40 人

<ゲストスピーカー> NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝 一般社団法人 YDP 中村雄介氏
NPO 法人 草の根福祉 副理事長 植野 高志氏

<コーディネーター> 認定 NPO 法人大阪 NPO センター 榮泰隆



評価 金融機関等と連携した CSO の創業関連セミナーの開催を通じて、ソーシャルビジネスを創業する起業家および事業者とのネットワーク構築を行えました。次年度の開催時にも CSO と連携したセミナーを検討し実行します。

3. 行政との連携

目的 行政が取り組む地縁組織や市民活動団体、ソーシャルビジネス事業者等による社会的課題の解決に寄与する施策、政策形成、企画立案・運営支援を行います。

内容 ・豊中市・小曾根小学校区地域自治協議会での地域づくり計画のサポート
・行政からの職員研修依頼/行政からの講師派遣依頼
(各種委員就任を参照)

【豊中市地域づくり活動計画策定アドバイザー業務】

本業務は、豊中市の地域自治組織において、継続的な取組みのために複数年度にわたる中期的な「地域づくり計画」を、住民が主体的に策定することにより、地域自治組織の活動の安定的な継続や発展につなげることを目的とし実施した。(2022年6月～2022年11月実施)

<対象> 大阪府豊中市小曾根小学校区地域自治協議会

<内容> ①地域づくり活動計画(以下、計画)におけるコンテンツ策定支援
②地域づくり活動計画にかかる広報活動への助言
③地域づくり活動計画作業部会の運営
④市との連絡調整

<結果>最終年度は、フレームとコンテンツ作りを中心に計画的に実施しました。活発な議論により、新たに PTA 役員が入会しました。持続可能な地域の取り組みとして「とよなか SDGs パートナー」にも登録されました。また、地域貢献型自動販売機を設置し、社会貢献型企业ともマッチングできました。本協働事業により「外部検証など俯瞰的な組織の見直しが地域力につながる」ことが実証されました。当初の地域の課題であった「公園の美化」は「フラワーロードづくり」に、また「地域の居場所づくり」は、「空き家対策の再生による拠点づくりベースおぞねっと」として実現化し稼働しました。

評価 昨年に引き続き、豊中市小曾根地域においては、地縁団体の運営支援のスキル・ノウハウを活かした企画運営を行うことができました。講師依頼においても、委託事業等での行政との協働の実践やマッチングのサポート経験を活かして、対応することができました。

4. 教育機関との連携

目的 公共政策、ソーシャルイノベーション論など CSO の創出や支援に寄与する学問諸領域の研究者、学生等への関与をめ目指します。具体的には、同分野の若手研究者、学生、院生等の若年層へのセンターのミッション、事業活動の広報を行います。また、若年層が取り組むまちづくり活動や社会的課題の解決に向けた取り組みに対して、「北浜サロン」「CSO フォーラム」への参加を呼びかけます。

内容 大学等への講師派遣(各種委員就任を参照)
龍谷大学・大阪人間科学大学等での広報・情報発信連携(CSO フォーラム 2022 など)

評価 今年度はこれまでのネットワークの活用した情報発信等の動きにとどまり、新たな連携は生まれませんでした。コロナ禍が落ち着き、大学等教育機関もこれまでの動きを取り戻しつつあることから、新たな連携やひろがりを作っていきたいと思います。

5. 会員やCSOを対象とした事業運営のサポート

目的 CSO の事業活動や組織運営のサポートを行います。事務局による相談や継続的なコンサルティングサポートを実施します。案件によっては、当センターのミッションに賛同し、保有する専門的知識、技術を提供いただける専門的人材の協力を得て、社会性のあるモノやサービス、場所などの創業支援・運営支援を実施します。

内容 ※相談・問い合わせ件数については報告書末尾を参照

<相談内容>

- ・NPO 設立相談 … 対応: 設立のためのスケジュール確認・ロードマップ助言
- ・助成金申請および申請者作成相談、助成金選択相談 … 対応: 助成金情報の提供
- ・認定 NPO 法人格取得相談 … 対応: 課題ヒアリングを行い取得のためのロードマップ助言
- ・研修事業のアイデアなど事例ヒアリング … 対応: 次年度研修事業の提案
- ・NPO 事業報告書作成相談 … 対応: 報告書作成のアドバイス
- ・つなぎ融資についての相談 … 対応: 日本政策金融公庫と連携し、融資を紹介

評価 窓口開設により、相談者にとって利用しやすく、事務局対応としても効率化的に進めることができました。
相談予約の際、簡単に相談内容をヒアリングすることにより、担当職員も検討でき、相談者が解決したい相談事へ的確にアドバイスできたことも大きな効果といえます。

6. 支援機関等との連携によるサポート（民間助成金の活用等）

目的 社会的課題の解決に取り組む団体へ支援機関等との連携によるサポートを行います。具体的には、行政・民間が実施する助成事業等に係る申請のサポートや、創業（第2創業含む）等での資金調達のサポートとして金融機関等との連携を図ります。

内容 ・民間助成金を活用した事業活動のコンサルティングサポート 4件
（民間団体、NPO 法人、地域活動協議会が受託運営する事業活動への助言など）
・一般社団法人 SDGs支援機構との連携（YouTubeチャンネル SDGsジャーナルへの出演）
・独立行政法人福祉医療機構（WAM）と連携し、助成金説明会を開催

【令和 4 年度補正予算および令和 5 年度 WAM 助成金説明会】

<目的> 新型コロナウイルスの感染拡大により事業活動・組織運営に影響を受けている団体・法人は多いです。次年度の事業計画策定にあたり民間の助成金等の活用を検討している団体・法人に対して、資金調達の一例として令和 5 年度 WAM 助成の紹介を行います。

<結果> 全国より52名参加しました。助成金説明会参加はもちろんであるが、当センターの顕彰事業を説明・案内することができた。また、助成金申請の書き方などを説明し、相談も3件ありました。今後もより多くの参加を呼びかけると同時に他団体との共催で講座を開催していくことも検討して、CSOの土台となる講座や情報提供などを行っていきます。

評価 会員や CSO を対象とした事業運営・組織運営に関するコンサルティングサポートをおこないました。課題をヒアリングし、必要と思われる情報提供や助成金申請サポート、勉強会の提案と実行など行うことができました。また、WAMの説明会では、WAMと連携したことにより多くの CSO に情報を発信することができました。

調査研究・政策提言事業

1. 各種委員就任

内容 各団体からの要請に応じて、NPOの設立・運営や人材育成に関する講座の講師やパネリスト、審議委員や選定委員としてセンター理事および職員を派遣しました。

対象者 NPO、行政、教育機関等

実績 講師 13 件 / 前年 11 件

大学での担当授業(大阪人間科学大学、関西大学大学院)	2件
行政(大阪市、摂津市、香芝市)	9件
支援機関(クレオ大阪南、大阪弁護士会)	2件

委員・選定委員 34 件 / 前年 36 件

行政(大阪市、枚方市等)	30 件
支援機関(大阪府社会福祉協議会、大阪教育文化振興財団等)	3件
企業等(全労災)	1件

評価 件数はほぼ横ばいですが、行政、教育機関等からの問い合わせや依頼は増加傾向にあります。職員の専門性やスキルを活かし講師や委員として派遣することで、センターの認知度向上や新たなクラウドネットワークの構築に活かしていきます。

情報受発信事業

目的 CSO が取り組む活動が社会や市民に認知され、人々の共感を生み出すための情報発信の強化を行います。センター会員の獲得拡大と会員に対するサービス向上に向けて定期的な情報発信等に取り組みます。また、具体的には社会的課題に興味関心を持ってもらうきっかけとして、「1,000万円応援 PROJECT」の応援先の活動の様子や社会的課題の解決に取り組む CSO の活動を、SNS を活用し映像や音声、Web サイトへ記事掲載など、広く情報を発信していきます。また、CSO の発信力向上に寄与するセミナーの企画運営や CSO に対するサポートメニューの企画立案を行います。

内容 (1)センター会員へのメールマガジンの配信(毎月 1 回)、個々の対象者への情報提供
(2)WEB サイト、SNS 等での情報発信
WEB サイト 年間ページビュー数:35,673 ビュー
WEB サイトへの助成金情報掲載 :毎月1回
SNS(Twitter、Facebook、Instagram)を活用した発信、YouTube への動画アップ 16 本
(3)WEB サイトリニューアルに向けた検討

評価 今年度は WEB サイトでの情報発信を見直し、SNS、Youtube 等での情報発信とセンターの会員に対して定期的な情報提供等に注力してきました。SNS のフォロワーも増えつつあり、今後も SNS 等での発信を強化していく必要があります。また、現行の WEB サイトが抱える課題についても見直しを図り、リニューアルに向けて取り組んでいきます。

講座・研修・イベント事業

※各拠点での講座、北浜サロン事業としての講座開催については各項目を参照。

社会性の高い市民事業推進事業

1. ファンドレイジング(“志”民ファンドへの寄付金、センターへの寄付金等の調達)

目的 CSO や社会的プロジェクトの運営支援に必要となる寄付金の調達戦略を練り、年間を通じて積極的に寄付金を集める活動を行います。特に、寄付金を集めるための手法やツールの情報収集とともに、専門家との連携やセンター内外のサイトを活用した発信、対面での丁寧なアプローチなど多角的な手法からの資金調達を積極的に実践します。

内容 ・大阪 NPO センターへの寄付メリットの検討
・NPO 法人としてのファンドレイジングの在り方の検討

評価 ファンドレイジングにおける新メニューの立案・実行には至りませんでした。しかしながら、寄附によるファンドレイジングが NPO 法人には重要であることを再認識し、これまでの協賛金・寄付集めの手法を見直し、次年度につながる貴重な機会になったと考えます。次年度は新たなアクションへつなげていきます。

2.“志”民ファンド

目的 社会課題解決に取り組む事業活動の「アイデア」や「事業計画(ソーシャルビジネスプラン)」に対する社会的な投資を志す個人や団体からの資金支援の受け皿とします。

内容 コロナから立ちがかり社会を元気にするアイデアの実現に向けた「1,000 万円応援 PROJECT」の企画運営、情報発信

評価 今年度は「1,000 万円応援 PROJECT」の企画運営および情報発信に注力してきたため、新規企画の立案には至りませんでした。今回の実施内容を踏まえ、センターが支援する対象や支援方法を検討する必要があると考えます。

3.CSOフォーラム

目的 社会的課題の解決に取り組む先進的な事業や新たな事業プラン、課題解決にむけさらに深掘りして取り組んでいる組織を表彰し、社会に広く発信していきます。

内容 【開催日】 2022年 12月 17日(土)13:00~17:30

【場所】 大阪産業創造館 6階 会議室 E

【プログラム】

- ・CSO フォーラム 2022 最終プレゼンテーション
- ・1,000 万円応援 PROJECT 中間報告会
- ・表彰式



【受賞結果】

グランプリ	株式会社ロスゼロ
プラン賞	株式会社IC
ファイナリスト賞	一般社団法人日本カーシェアリング協会
	特定非営利活動法人 SET
	株式会社ルースヒースガーデン
	WAKEAT

●冠賞

大阪ロータリークラブ賞	株式会社ロスゼロ
大阪青年会議所賞	該当なし

評価

本年度は「社会課題の解決」を全面に出し、積極的に SNS を活用した広報を展開しました。その結果、全国・世界から約 100 件の応募があり、レベルの高い選考となりました。コロナ禍や時代の流れを考慮し、対面とオンラインのハイブリッド型での最終プレゼンテーションを実施しました。受賞された団体や、応募していただいた団体へのフォローにも積極的に取り組むことができています。このフォローの成果をクラウドネットワークやセンターの PR へつなげていきます。

4.1,000万円応援 PROJECT

目的

コロナから立ち上がり社会を元気にする活動やアイデアの実現に向けて、大阪 NPO センターが継続的にサポートします(応援期間は 1 年間)。

内容

コロナから立ちががあり社会を元気にするアイデアの実現に向けた「1000 万円応援 PROJECT」の運営、採択者の応援サポート、情報発信

【応募件数】141件 うち採択件数 5件

【採択者の活動エリア】大阪府大阪市、大阪府池田市、宮城県亘理町

【助成額】 総額 10,220,000 円

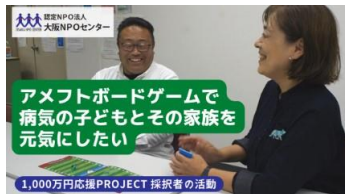
【取組状況】

採択者によるプレゼンテーション発表 2022年5月24日開催

中間報告会 2022年12月17日開催

取組の情報発信:特設サイトでの随時発信、Youtube にて採択者のインタビュー動画公開





評価 初めての試みでしたが全国から 141 件の応募があり、うち 5 件の採択が決定し 1 年間の応援期間のもと各プロジェクトが実行されました。センターがコロナ過から立ち上がる人を応援していることや社会課題の解決に取り組む方をサポートする機関であるということを、広く認知する機会に繋がったと言えます。

有料職業紹介事業

今年度は実施せず

IV. 社員総会の開催状況

名称	第24回定時総会		
日時	2022年5月24日(火) 18:00 ~ 18:35		
場所	金井重要工業株式会社2階 セミナールーム		
出席数	55名(委任状含む) ※社員総数 94名		
議案及び審議結果	第1号議案	2021年度 事業報告承認の件	原案承認可決
	第2号議案	2021年度 決算承認の件並びに監査報告	原案承認可決
	第3号議案	役員改選の件	原案承認可決
	報告事項	2022年度事業計画及び活動予算報告	

V. 理事会等の開催状況

回	月日	審議案件・結果
1	4月25日	① 2022年度事業計画案及び予算案について →内容について再検討し、次月理事会で審議とする。 ② 役員改選について→承認
2	5月10日	① 第24回定時総会資料について →承認
3	6月20日	審議事項なし
4	7月20日	① CSOフォーラム2022募集要項及び選考会の流れについて(案) →内容について再度検討する。
5	8月23日	① CSOフォーラム2022予算案及び開催方法案について →予算案は承認。開催方法案については引き続き検討する。 ② 川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター指定管理者募集については応募しないことを承認 ③ 豊中市立市民公益活動支援センター運営に係る企画提案応募について→承認

6	9月20日	審議事項なし
7	10月20日	① 後援名義貸与について→承認
8	11月21日	審議事項なし
9	12月17日	審議事項なし
10	1月23日	① 令和5年度堺市市民活動コーナーにおける市民活動支援業務への応募について→承認
11	2月21日	① 第25回定時総会及び「1,000万円応援PROJECT」コンサート開催案について→承認 ② 緊急議題“志”民ファンドから事務局運営費用活用の是非について→資料を作成のうえ、改めて審議事項とする。
12	3月23日	① 就業規則(案)、育児・介護休業等規程(案)、在宅勤務規程(案)の改定について→承認

【2022年度 センター来館者数・相談内容の内訳について】

■各拠点における問合せ件数、属性

	NPO法人	学校・大学 研究機関	企業	金融機関	個人 起業家	行政	財団・社団 ・社福	専門家	地縁組織	任意・市民 活動団体	その他	ヨコ総計
北浜事務所	54	2	4	3	35	19	7	10	1	24	10	169
堺市市民活動コーナー	85	1	5	0	10	1	45	2	1	99	105	354
岸和田市市民活動サポートセンター	62	18	23	0	296	75	47	1	10	127	12	671
門真市立市民公益活動支援センター	261	4	0	0	183	32	9	0	89	370	151	1099
総計	462	25	32	3	524	127	108	13	101	620	278	2293

■各拠点の問合せ内容

	運営相談	広報依頼	講師派遣・講演依頼	施設案内	視察取材	事業協力依頼	自主財源獲得	情報収集	人材・担い手育成	創業支援	打合わせ	その他	ヨコ総計
北浜事務所	56	8	11	5	0	11	5	22	0	30	16	5	169
堺市市民活動コーナー	19	91	0	2	0	0	0	5	0	22	35	180	354
岸和田市市民活動サポートセンター	10	107	2	151	16	0	0	238	0	2	60	85	671
門真市立市民公益活動支援センター	109	38	7	575	1	1	6	79	8	0	61	214	1099
総計	194	244	20	733	17	12	11	344	8	54	172	484	2293